

東京都千代田区丸の内一丁目5番1号  
三菱UFJリース株式会社  
取締役社長 柳井隆博  
(コード番号 8593 東証・名証第1部)

お問合せ先

コーポレートコミュニケーション部長 楠 浩一

TEL 03-6865-3002

## 三菱UFJリース 物流不動産アセットマネジメント会社へ出資および 物流不動産向け投資プログラムの組成について

三菱UFJリースは、物流不動産専門のアセットマネジメント会社である株式会社センターポイント・ディベロップメント（本社：東京都千代田区、代表取締役：吉川陽介、以下「CPD社」）が実施した第三者割当増資を引き受け、同社を当社の持分法適用関連会社としました。合わせて、物流施設を対象とした取り組みを加速させるため、CPD社および世界トップクラスの不動産投資会社と共同で物件規模総額1,000億円の投資プログラムを組成することとしましたのでお知らせいたします。

当社グループでは、中期経営計画“**Breakthrough for the Next Decade**～今を超え、新たな10年へ～”において、不動産を重点産業分野の一つに位置付けて様々な取り組みを推進しています。オフィス、商業施設、レジデンス、物流施設、ホテル等のさまざまな収益不動産を対象にノンリコースローンを提供してきたほか、長年にわたる不動産流動化の取り組みで蓄積したノウハウを活かしてエクイティ投資も積極的に手掛けるなど、同分野における事業機会の拡大に取り組んでまいりました。

CPD社は2011年の設立以降、高い専門性を活かしてクライアント企業のニーズに即した物流施設開発を手掛けています。当社グループもこれまでCPD社が手掛ける多くのプロジェクトに投融資を通じて参加するなど協業実績を積み上げてまいりました。今回の出資により、引き続き成長が期待できる物流施設開発分野のエクイティ投資を推進してまいります。

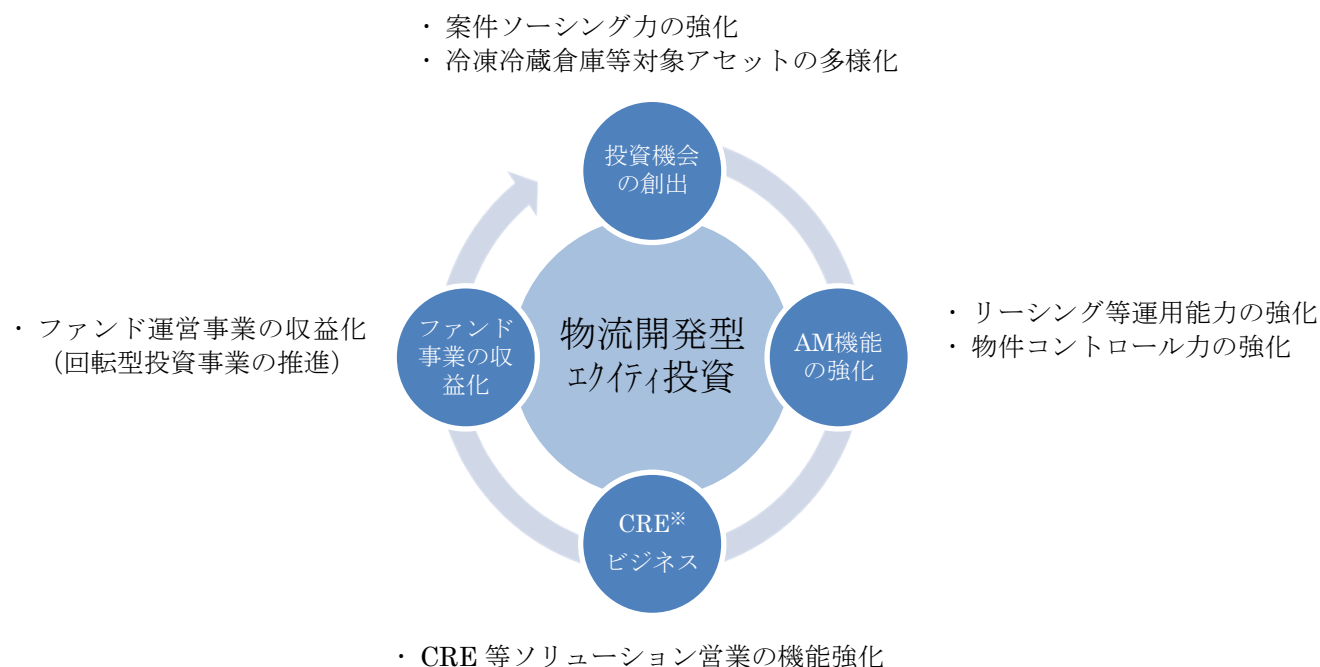
また、物流施設への投資機会を一層拡充することを目的に、CPD社および大手不動産投資会社との共同で投資プログラムを組成することといたしました。本プログラムを通じて、今後3年間で物件規模1,000億円の投資案件獲得を目指してまいります。

高度成長期に建てられた施設の老朽化への備えやインターネット取引（eコマース）の普及、自動化・省人化ニーズに伴う物流施設の高機能化等、物流施設に求められる機能は今後著しく変化を遂げていくことが予想されます。当社グループでは、CPD社への出資と投資プログラムの運用を通じて、従来に増してお客さまのニーズに最適な物流施設の供給に貢献してまいります。

<当社出資後のCPD社の概要>

商号	株式会社センターポイント・ディベロップメント
本社所在地	東京都千代田区
設立年月日	2011年4月18日
代表者	代表取締役 吉川 陽介
資本金	280百万円
事業内容	物流不動産に関する投資助言、アセットマネジメントサービス

<当社が目指すビジネス展開>



※CRE (Corporate Real Estate) とは、企業が保有 (所有・賃借) する企業不動産のこと。

<投資プログラムの概要>

対象地域	日本国内主要都市 東京圏、大阪圏、名古屋圏および福岡圏
対象物件	物流不動産・産業関連施設
1件当たりの投資規模	1件当たり総額30億円以上を目途

以上